

## 総合分析

試験区分 一般（前期）

制限時間 60分（理科2科120分）

大問数 全4問

## 出題分野

理論 30%

無機 0%

有機 70%

## 本年度出題テーマ一覧

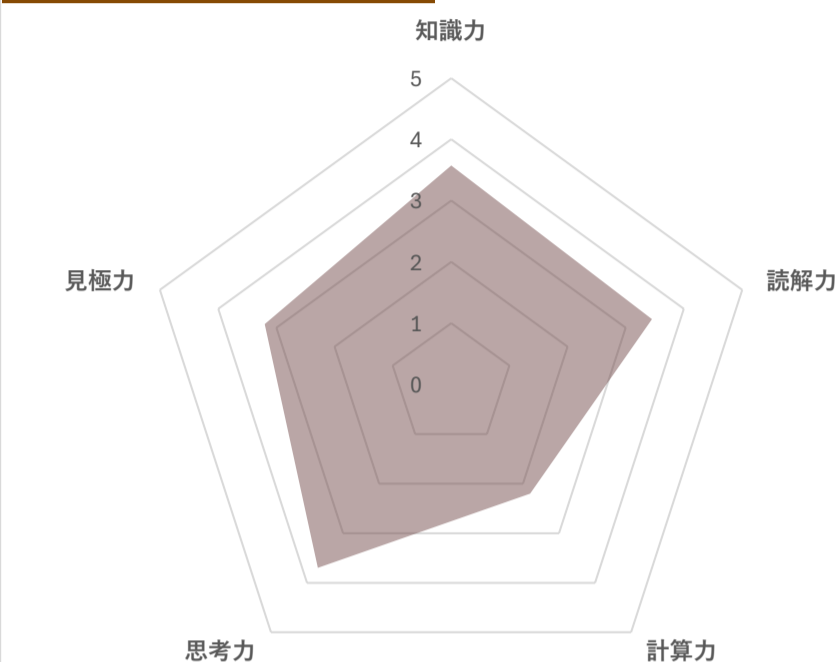
第1問 分子軌道と極性

第2問 アスコルビン酸の還元性

第3問 メチルオレンジの合成

第4問 アミグダリン

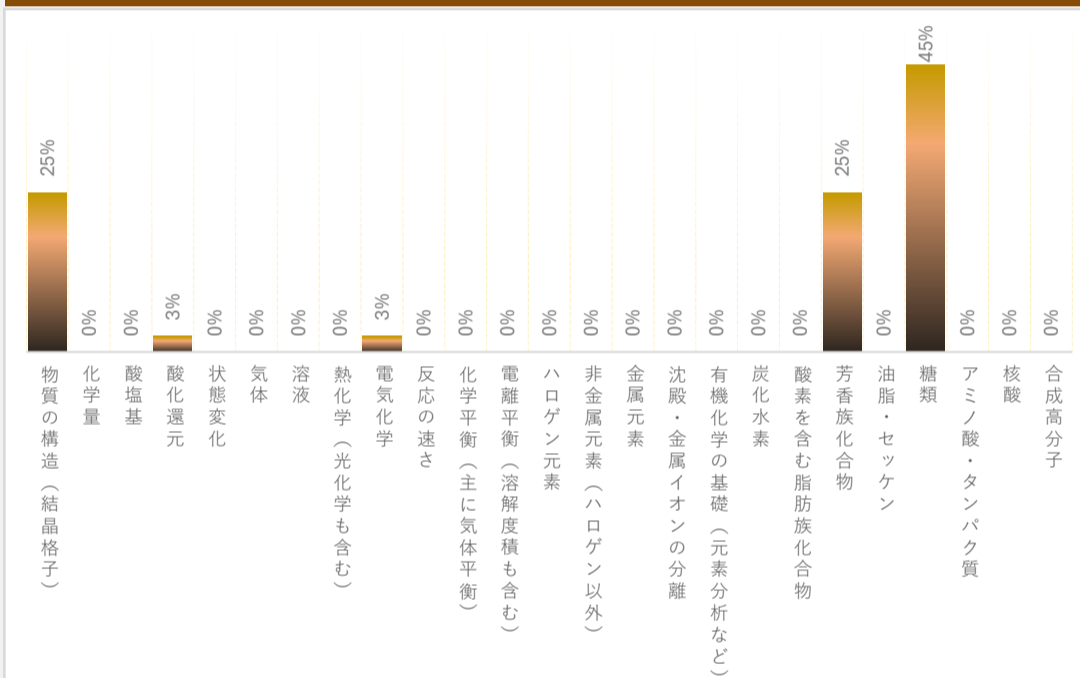
## 合格に要する能力（5段階）



## 本年度 解答形式

答えのみ記述 100%

## 本年度 出題詳細分類



## 合格に要する能力（5段階）

知識力	3.4	物質，反応，解法の知識
読解力	3.3	問題文から必要な情報を抽出できるか
計算力	2.0	手際よく正確に計算できるか
思考力	3.5	基礎知識や問題文から推測する力
見極力	3.0	解きやすい問題を選択する力

特殊問題の有無

数値計算あり

グラフなし

正誤問題なし

理由記述なし

図表なし

特記事項

特になし

## 総合評価

難度	3.0	最難を5とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率（予想）	75%
分量	45分	完答に要する時間（制限時間は60分）	やや少ない	高い正答率を要する	

入試の特徴と対策

強い特徴や偏りがないバランスがとれた入試である。特別な対策は必要とせず標準的な高校化学の学習でよい。

入試から見る  
大学が求める学生像

基礎学力を有するとともに，問題文の読解力や思考力を持つ生徒。